

沖縄県保険医協会会員数  
794名  
(5月1日付 現勢)

全国保険医団体連合会会員数  
107,207名  
(5月1日付 現勢)



発行所 沖縄県保険医協会  
〒902-0078 那覇市字識名1195-1  
大城産業ビル106号  
TEL (098) 832-7813  
FAX (098) 832-4482  
https://okinawa-hk.com

発行人 仲里尚実  
年間購読料1800円(会員の購読料は会費に含む)

## 新型コロナウイルス感染による医療機関の影響調査

医科

8割が保険診療収入減  
患者の受診控え深刻/医療材料の不足も

協会では新型コロナウイルスの感染拡大による診療所・病院への影響を把握するため緊急アンケートを実施。会員90人より回答を得た。

回答率  
33.3%

調査期間  
4月30日～  
5月10日

概要報告

### 調査結果

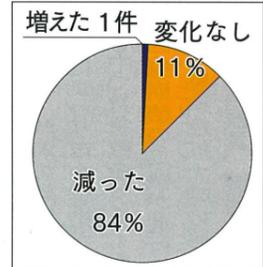
#### 【診療状況】(今年4月と前年4月との比較)

- 外来患者数 ■減った81 ■変化なし9 ■増えた0  
(減少割合 30% 50件 50% 21件 70% 6件 未回答4件)  
回答を得られた医療機関のうち、90%が外来患者数が減っていると回答。また外来患者数の減少割合は3割減が61.7%、5割減が25.9%、7割減が7.4%となっている。診療科別では、小児科、耳鼻咽喉科の減少割合が5割～7割と高かった。
- 保険診療収入  
■減った76 ■変化なし10 ■増えた1 ■未回答3  
(減少割合 30% 45件 50% 20件 70% 5件 未回答6件)  
保険診療収入について84%が「減っている」と回答。

- 予約キャンセルや延期依頼について  
■増えた45件 ■変化なし21件 ■減った11件
- 電話再診件数は53%が増えたと回答、変化なしが28%であった。電話再診の増加は、電話や情報通信機器を用いた診療等の時的取扱い(厚労省通知)により増加したものと考えられる。
- 在宅、訪問診療件数は、回答者の84%が変化なし、減った4件、増えた3件であった。

#### 保険診療収入(前年4月と比較)

	減った	変化なし	増えた	未回答
件数	76件	10件	1件	6件
割合	84%	11%		5%



#### 診療状況について寄せられたコメント

■学校が休校となり、外出自粛(制限)で受診者が大幅に減少した(小児科) ■予防接種でさえ控える傾向があり、乳幼児の疾病予防に不安がある(小児科) ■1回の受診で可能な限り多くの処方希望される患者が増えた ■急ぎではない治療はコロナが落ち着いてから治療をするようにしている ■感染を危惧し高齢者の受診抑制が増えている(内科) ■定期的に行っている注射や検査が中断したケースがある(内科) ■医療に不要な医療、不急な医療はない(内科) ■電話での問い合わせが多く、業務は増えている一方、投薬のみや電話再診希望者が多く、保険診療収入が減少した(内科) ■長期処方希望と電話再診が増えた ■末期癌や老衰の方を中心に訪問診療の依頼が急増している ■5月からはかなり経営がきびしくなりそう ■手術のキャンセルが増えた

ターホン)43件、来院自粛をお願いしている32件、別室で診療29件、動線を分離28件、診療時間を変更8件、特別発熱外来を設置5件、屋外テント設置2件であった。

#### 【医療材料の確保について】

- 医療用マスク、手指消毒、機材消毒剤は在庫1ヵ月以内が最多、グローブ、生理食塩水、精製水は充足しているが最多、防護服、ゴーグル、フェイスシールドは既に在庫なしが最多であった。
- その他不足しているものやコメント(N95マスク・DS2マスク・ガーゼ類・ハンドソープ・消毒石鹸・ガウン・消毒用エタノール・再利用できるものは使っているが、政府主導で配布してほしい・防護服は合羽など代用品を準備・ゴーグルは手に入らない・フェイスシールドはスタッフが手作りし、まずまずの物が出来た)

#### 【PCR検査について】

- PCR検査を依頼したことがある  
■ない65件 ■ある25件  
依頼件数は、1回(11件)・2回(9件)・3回(5件)・4回(4件)・6回(1件)・200件(1件病院)
- PCR検査の必要性を指摘したにもかかわらず、保健所、指定病院から検査を拒否されたことがあるか ■ない7件 ■ある24件

#### PCR検査について寄せられたコメント

■発熱外来あるいは検体採取センターの設立を望む ■検査件数を増やしてほしい ■保健所から検査適応ではないと断られた方が来院し、説明対応に時間もかかり苦慮 ■PCR検査が必要と判断しても保健所で受け付けてもらえない ■医師が必要と判断した場合はぜひ検査してほしい ■感染防御ができないため施行できない ■検査の質を考えると受け入れる

施設を決めて専門の部署を作ったほうがよい ■濃厚接触者の大人(親)がPCR検査ができず、子供が発熱しているケースで困った ■ハイリスク者や医療従事者でないと検査してもらえない ■希望したら検査できると勘違いしている人が多すぎる ■電話がつかまらない

#### 【コロナ感染の風評被害について】

風評被害について ■風評被害なし78件 ■ある6件

#### 風評被害に寄せられたコメント

■当クリニックから感染者が出たという噂(事実ではない) ■「そちらでコロナ感染者が出たというのは本当ですか」との問い合わせが数回ある ■屋外テント設置で隣から移動を求められた ■当院ではないが一部医療従事者の子どもの保育園での受け入れを自粛するよう求められたと聞いている ■休診した際にコロナ感染のために休診しているのかと問い合わせがあった。 ■クリニックの中に入りたがらない人もいる ■訪問診療時に入室するスタッフの人数を減らすよう依頼されたり、診察する場所を限定されたりした

#### 【国・自治体等の助成金や融資について】

- 申請する予定はあるか  
■申請した2件 ■申請を検討30件  
■申請したが不可3件 ■予定していない53件
- 国・自治体に創設・拡充を希望する支援策  
■損失への補償(給付金)30件  
■人件費への補助35件 ■家賃等の補助19件  
■資金繰りの補助(特別融資)21件  
■納税等の猶予措置26件  
■その他(個人防護具の補充・面会制限によるネット環境の充実・設備投資・診療報酬単価のアップ・法人税の減税・医療資材の不足の解消・コロナ対応のための設備の補助)

#### 【診療時間、スタッフ雇用管理】

- 医療機関の殆どが通常通り診療をしていると回答、休診している2件、閉院を検討しているが1件あった。
- スタッフの勤務については、特に変更なし65件、勤務調整をしている18件(勤務時間短縮、出勤日の調整)、勤務日数減7件、出勤できない職員がいる11件(学校休校による子どもの世話、風邪症状がある、妊婦職員は有給休みや勤務時間調整)。
- スタッフへの勤務日数減の場合の給与支払いについて、全額支給45件(有給で対応、給与カットはすぐにはできない)、一部支給6件(6割支給2件・7割支給2件・8割支給2件)、無給2件、未定・削減を今後検討10件。

#### 【発熱外来について】(複数回答可)

- 患者への対応について、院外で対応(車中・イン

## 風評

「医療費亡国論」が厚生官僚から発表されたのが1983年であった。医療費の伸びに国民所得の伸びが追いつかず、このままでは経済成長が支えられないという理由であった。日本人の平均寿命が延び、新しい医学技術が開発されれば当然「自然増」も大きくなる。政府の医療政策は「医療費削減」の歴史である。保健所は統廃合され、最近では赤字対策として地方の中核病院も統廃合の対象とされている。国立感染症研究所(東京)の研究予算は60億円(2009年)から40億円(2018年)に、研究員は325人(2010年)から306人(2018年)にまで減らされた。日本の感染症対策研究の最前線が疲弊しきつているときに新型コロナウイルスが襲ってきた。「医療崩壊」が目の前で見えている。最前線でウイルスと戦っているのは国公立や民間の救急病院を中心とした医療機関である。「月刊保団連」5月号の「道」で、本田宏氏は「…命を守る病院を赤字と非難するなら、消防や警察、自衛隊は赤字なのかと問わなければならぬ」と述べる。今、医療機関が総力を出して踏ん張っている時「医療費が国を亡ぼす」と言えるのか。国民は「不要不急」の外出を控えている。辺野古の埋め立ては「不要不急」の最たるものであり、その予算を速やかにコロナ対策に回すべきだろう。

# COVID-19(新型コロナウイルス) 対策への緊急提言

提言者 徳田安春(群星沖縄臨床研修センター長)・城間寛(南部病院前院長)・高嶺朝広(とよみ生協病院前院長)・宮城信雄(沖縄第二病院理事)・砂川博司(砂川内科クリニック)

日本ではPCR検査が重症者と濃厚接触者に事実上制限されているため、実際の感染者数を過小評価している。検査されていない軽症者や無症状者はかなりの数おり、有効な隔離がなされずに感染が拡大していると考えられる。感染者が増え、その中から重症者が出てくる。死亡後に診断が判明したケースも報告されている。

この感染症に関しては軽症でもPCR検査は必要で、早期診断

とがある。しかも、ウイルス排泄量は、発症1〜2日前から極期と同程度に高い。

い。センターの運用について、地域によつては、医療機関の輪番制による運用で、その当日のみ特別にテストのみの診療業務を行うこともできるだろう。医師の簡単な問診で適応を判断し、検体採取の担当は地域の医師と医療者だけでなく、引退した元医療者にも依頼できると考える。ドライブスルーやウォークスルー方式を取り入れると医療従事者の感染予防にも有効だ。

左下記に手順モデルを示す。  
【地域におけるコロナ診療フロー案(図1)】

PCR検査のオーダは現場の医師の判断でやらせてほしい。この病気は感染症法に基づく届け出対象なので、陽性ならばすぐに届出ができるようにすればよい。医師が検査の適応を判断したらPCR検査センター(案内できるような活動性が高いので、単独で非常に多くの人を感染させるスペースプレッダー)に設置すればよい。

PCR検査のオーダは現場の医師の判断でやらせてほしい。この病気は感染症法に基づく届け出対象なので、陽性ならばすぐに届出ができるようにすればよい。医師が検査の適応を判断したらPCR検査センター(案内できるような活動性が高いので、単独で非常に多くの人を感染させるスペースプレッダー)に設置すればよい。

PCR検査のオーダは現場の医師の判断でやらせてほしい。この病気は感染症法に基づく届け出対象なので、陽性ならばすぐに届出ができるようにすればよい。医師が検査の適応を判断したらPCR検査センター(案内できるような活動性が高いので、単独で非常に多くの人を感染させるスペースプレッダー)に設置すればよい。

## 抄論

### 新型コロナウイルス感染症から見てくるもの

理事 山里 将進

中国の武漢で起きた新型コロナウイルス感染症はまたたく間にヨーロッパ、アメリカ、アジア、アフリカ、南アメリカの全世界に広がり人類を地球規模で恐怖に陥れている。4月29日の時点で世界の感染者は300万人を超え死者も21万人を超える深刻な状態になっている。

危機、2010年のギリシャ危機以後欧州連合(EU)や国際通貨基金(IMF)から厳しい緊縮財政を求められ社会保障や医療関連予算が大幅に削減された結果急性期病床がピーク時の半分(スペイン)〜3割(イタリア)程度に激減している。ベッドの減少に関連して救急医療関連の人、物も削減された事は想像に難くない。今回の医療崩壊の伏線は平時の緊縮財政に有ったと見るべきだろう。日本にとってヨーロッパで起きている医療崩壊は人ごとではなくなっている。

新型コロナウイルス感染症はダイヤモンド・プリンセス号での集団感染から始まり、その後

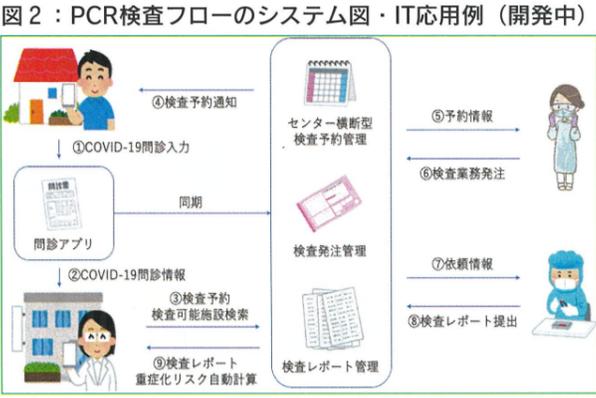
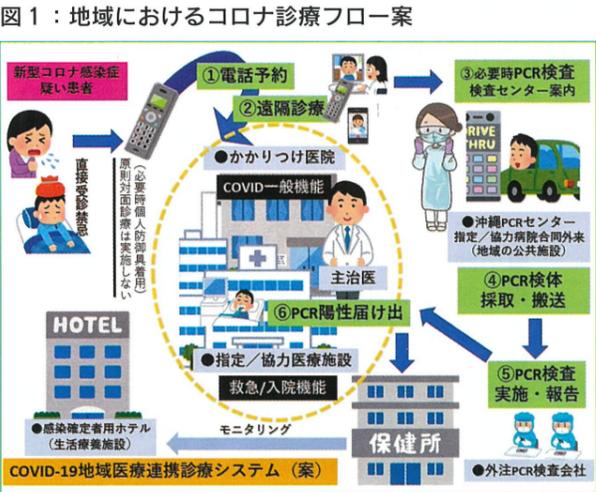
東京都や大阪府などの大都市での集団感染、更に全国に広がりに市中感染の抑え込みが全国的課題になっている。政府は緊急事態宣言を全国に拡大し、不要不急の外出の自粛や企業の休業要請を呼び掛け、人と人との接触を8割以下に抑える戦略に力を入れている。

しかし、政府の政策が後手後手にまわり市中感染が拡大する中で救命センターを始め医療崩壊の危機が進行している。感染症拡大時の感染防護のための器具、機器などの備蓄が圧倒的に不足する中で命の危機に晒されながら医療人としてのミッションを果たしている医療現場に政府は真剣に向

き合つて欲しい。御隣の韓国ではPCR検査の徹底、検査陽性者の追跡、非感染者との隔離、陽性者の適切な治療ルートへの誘導等で医療崩壊を防いだ経験に日本政府は謙虚に学ぶ必要がある。日本では経済優先の政策の下で医療費抑制政策が長く続き医師を始めとする人手不足、病床の不足、保健所の不足が進行し新型コロナウイルス感染症の拡大で医療や保健、介護の体制の弱体化が顕在化している。

新型コロナウイルス感染症や今後起こりうる新興感染症に立ち向かうために政府は従来の医療費抑制策を改め人命尊重を優先する社会保障政策の確立に向かうべきであり、辺野古基地建設に使われる不要、不急の国家予算の投入は中止すべきものと思われる。

PCR検査のオーダは現場の医師の判断でやらせてほしい。この病気は感染症法に基づく届け出対象なので、陽性ならばすぐに届出ができるようにすればよい。医師が検査の適応を判断したらPCR検査センター(案内できるような活動性が高いので、単独で非常に多くの人を感染させるスペースプレッダー)に設置すればよい。



の必要性等を判断する。③「PCR検査結果陰性」でも臨床的に疑いが強い場合(偽陰性疑い)も、低リスク者または無症状者は、感染未確定者用ホテル(グリーンゾーン)・ケースホテル(隔離する。その際、交差感染予防を考慮しゾーニングを徹底し管理する。

センターを指定病院+協力病院と紐付けて病診連携モデル(COVID-19地域合同外来)と解釈する。その際、責任と指示命令システムを確立する。例: 南部医療センター+那覇市立病院他+浦添大公園 中部病院+中頭他+浦添大公園

最後に、最も重要なことだが、PPEの迅速大量生産を民間に依頼お願いしたい。これは医療者を助ける。

協力者: 近藤太郎(近藤医院 東京都医師会元副会長 東京都医師会顧問)・渋谷健司(WHO事務局長上級顧問 英国キングスカレッジロンドン教授)・崎浜智子(国際医療福祉大学教授 感染管理)・國谷紀良(神戸大学システム情報学研究所感染症疫学准教授)・谷口清州(国立病院機構三重病院臨床研究部長)・青木真(感染症コンサルタント)・クラ精機顧問)・Tai-Yuan Chiu(台湾医師会理事長 台湾大学家庭医学教授 台湾国

議員)・Brian Bih-Jeng Chang(Acting secretary general of Taiwan Medical Association, Honorary Secretary of WONCA, Asia Pacific Region)・空野すみね(ロンдон大学衛生熱帯大学)・城間寛(とよみ生協病院)・庄子万能(BonBon株式代表取締役)・伊部達朗(BonBon株式会社最高技術責任者)

参考文献  
1 Brian Bih-Jeng Chang, Tai-Yuan Chiu, MD, MHS. Ready for a long fight against the COVID-19 outbreak: an innovative model of tiered primary health care in Taiwan. BJGP Open. April 8, 2020. DOI: 10.3399/bjgpopen20X101068  
2 Hellewell J, et al. Feasibility of controlling COVID-19 outbreaks by isolation of cases and contacts. Lancet Glob Health. 2020 Apr;8(4):e488-e496. doi: 10.1016/S2214-109X(20)30074-7. Epub 2020 Feb 28.

# チャーびりさい 会員紹介

146

ほかもデンタル  
クリニック院長  
外間宏亨先生

2019年3月に浦添市で開業のほかもデンタルクリニック院長の外間宏亨先生にお話を伺いました。

## 先生の経歴

那覇市首里の出身で、元の小中学校を卒業後、昭和薬科大学附属高等学校に通い、北海道医療大学歯学部へ進学しました。大学卒業後は、九州歯科大学附属病院で研修医として1年間、同大学院で4年間勤務しました。その後沖縄に戻り、首里で開業している父の診療所「ほかも歯科クリニック」で1年半勤務しました。同時に県外で診療をしていた歯科医師の兄も沖縄に戻り、

## 医師を志したきっかけ・主な診療分野

将来の職業について考えた時に、父が歯科医師をしているという影響もあり、高校生の頃から本格的に歯科医師を目指しました。歯学部に進学して歯科でしか取り扱えない補綴分野に興味を持ち、大学院の時から医局にお世話になっていました。

## 開業したきっかけ

沖縄に戻るまでは特に開業を考えていたわけではな



父のクリニックで勤務することもきっかけとなり2019年3月にほかもデンタルクリニックを開業しました。

## 診療で心がけていること

患者さんの訴えをよく聞き、できるだけ多くの治療方法を提示し患者さん自身で希望する治療を選んでもらえるよう心がけています。

## 診療にあたって嬉しかったこと・苦労したこと

治療終了後、患者さんが喜んでいただけると嬉しいですね。大変なことは、開業にあたり診療以外の経営

まで考えなければならぬことですね。

## 先生の趣味、休日の過ごし方

熱帯魚が好きで、趣味はアクアリウムです。当院のカウンターにも小さな水槽があり、ザリガニや小エビ、小さな魚がいます。自宅には、横90cm程の水槽があります。以前は、ランニングやバンド活動をしていました。

## 差し支えなければご家族の紹介を

結婚3年目で、もう少しで2歳になる娘と3人家族です。

## 保険医協会に対する要望や期待について

歯科では金パラ「逆ザヤ」問題など開業医の経営も厳しくなっています。保険医や患者さんを守るための活動を継続してほしいですね。

## 寄稿 しまくとぅばで物語を味わおう①

### 宜野湾の森の川(ムイヌカー)の『羽衣伝説』後編

〜天女と察度王の伝説〜

かなでクリニック 棚原 一哉

後編は母が天に帰った後の話。姉は母譲りの美貌ゆえか、すんなりと按司の妻に。問題は弟の方。成長しても父が農夫なのに何故か農業が大嫌いで、まるで自分のアイデンティティを探すかのように毎日自由気ままに海や山に遊んでいた。母には充分甘えられなかったが、自然の懐に抱かれた若者は、志も並外れていた。

瞬時に見抜き結婚に応じたのだ。王も何とか承諾し二人は結婚して一路舟で帰途へ。その途中だった。二人に運命的な出来事が。突然現れた海鳥が、舟を追ってしつこく鳴き続けるため、それを落とそうと夫が石を投げつけたのだ。とっさに「何てことを、あれは黄金というのよ」と慌てる妻。実はその石は、王妃が娘を心配して米俵の中に隠して持たせた一つの拳大の黄金だった。

帰り着き、その庭を見ると、何と目の前には沢山の黄金が転がっていた。羽衣伝説は元々白鳥伝説が起源といわれる。白鳥はその美しい姿から神さまの使者ともいわれ、その象徴は愛と恵み。そういう視点で見ると、その庭に転がる黄金はまさに「母が天から落としてくれたもの」で「海鳥は母天女の使者だった」ということになるが、いずれにせよ沢山の黄金を手にした若者の未来はこれから大きく開けていった。

若者は、まず真っ先に近くの港で沢山の鉄を購入。その鉄で鋏を作ってもらい

ある日勝連城の王女が婿選びをしていると聞き「自分も」と、若者はボロを着たまま堂々と城の門を叩いた。一見無謀。しかし城の王女はそんな若者の本質を

「あれなら、うちの庭にゴロゴロ転がっている」と黄金の何たるかを知らず平然と言う夫。実際夫の家に

を受けたら、どうも末期の病らしい。いつも元気でやせ形でおしゃべり好きで、オシャレな彼だった。施設に入り、病も依存症も克服する

にしている。そして特徴的なことはみんな関西などの地元には帰らず、ほとんどが沖縄で過ごしたいと希望していることだ。

## 診療雑感

19

船越歯科医院 座覇 修好

当院の近くにNPOの更生施設があるため、更生に努めている人達がよく歯科治療に訪れる。薬物、アルコール、ギャンブル依存症の方々だ。患者Aさん(56歳)は、2年前はC型肝炎を患って今にも倒れそう

反社会的勢力に属していたTさん(38歳)もすっかり3年間で立ち直り、最後の社会奉仕活動として、刑務所の中での講話や、雑用などの奉仕を行っていた。しかしある日、血を吐いて検査

また精神的な面の起伏がはつきりとして取れる方が多く、最近では治療よりもほとんど診療台の上で嘔吐ばかりをして過ごす人もいて、落ち着いた時だけ、少しずつ歯を削るよう

困ったときに頼りになる  
保険医協会  
審査、指導、監査、患者トラブルの相談は協会にご連絡を  
098-832-7813

# 保険医協会の3大共済制度募集中!

会員同士の助け合いで営利を求めない共済保険は、高い代理店手数料や生命保険会社などの利益を含みません。  
この機会にぜひ加入をご検討ください。

## 保険医休業保障

募集期間 4/1～5/25(2020年8月1日加入)

### 9つのポイント

- ◎ 給付期間が最長730日の充実保障
- ◎ 豊富な給付内容
- ◎ 入院はもちろん、自宅療養、代診をおいても給付
- ◎ 同一傷病でも、何度でも給付
- ◎ 75歳までの長期保障
- ◎ 拠出金(保険料)は加入時のまま上がり、掛け捨てではありません
- ◎ 所得補償保険等の加入には関係なく給付
- ◎ 傷病休業給付金等は非課税
- ◎ 転出・転勤でも加入継続

加入時 43歳で  
8口加入の場合  
**24,000円/月**

**加入年齢が  
若いほど  
有利**

30日分の給付を受けた時  
自宅療養 **144万円**  
入院療養 **192万円**

※免責期間（5日間）があります。  
※自宅療養は最低でも月1回の受診が必要です。

※制度改定による  
変更時は除く

加入年齢	1口当りの拠出金
～29歳	2,500円
30～39歳	2,800円
40～49歳	3,000円
50～54歳	3,300円
55～59歳	3,700円

### 加入申込資格

- 1、当会会員である
- 2、加入日現在、加入年齢が59歳（昭和36年2月2日生以降）まで
- 3、1つの主たる医療機関等で週4日以上かつ週16時間以上業務に従事している
- 4、加入日現在、健康である（服薬中、治療中の方は原則加入できません）

## 保険医年金

加入者は約5万3千人、積立金は1兆2千億円を超える日本有数の団体年金制度

募集期間 4/1～6/25(2020年9月1日加入)

予定利率

**1.259%**

(2018年度は配当を含めて1.444%)

掛金	1口	限度額
月払	1万円	通算30口（月額30万円）まで
一時払	50万円	加入日ごとに40口（2千万円）まで

既に一時払いに加入している場合は20口が上限となります。

### 保険医年金の魅力

- ◎ 4種類の年金受給方法、一時金として受取り、口数単位での受取りなど多彩な受取りが可能
- ◎ ご都合に合わせて口数単位での掛金の払い込み中断・再開が可能
- ◎ 一般の生命保険料控除の対象となります
- ◎ 万一の場合、積立中・受給中でも遺族受取人が残額を受給できます
- ◎ 新規申込みは満74歳、増口加入申込みは満79歳まで可能

## グループ生命保険

随時加入受付中!

### 個人契約の一般生命保険と比べて保険料が割安です

- 最高6000万円まで病気・不慮の事故による死亡、所定の高度障害状態を保障します
- 診査はなく告知のみです
- 安い保険料で高額な保障の見直しができます
- 期間は1年で毎年保障の見直しができます
- 税法上の特典があります
- 余剰金が生じた場合には配当金として還元されます
- 受取人の希望により、保険金の一部または全部を年金として受け取ることができます
- 配偶者・お子様も併せて加入できます（配偶者は安価な掛金で最高3000万の保障額までご加入できます）
- 70歳まで新規加入・増額できます（加入資格を満たす限り75歳まで継続加入）

お問い合わせは 沖縄県保険医協会事務局まで ☎ 098-832-7813

※本案内は制度概要を説明したものです。ご加入条件・お支払い条件等の詳細については、パンフレット・申込書等を必ずご確認ください。